

病院の実力

～埼玉編 180

眼科

白内障人工レンズに置換

今回は眼科の治療を取り上げる。一覧表には、2021

年の手術件数などの治療実績を示した。眼球の中には、「硝子体」というゼリー状の物質で満たされている。硝子体手術は眼球の白目の表面に3〜4か所

の穴を開けて、非常に細かい器具で、濁った硝子体の切除などをを行う。硝子体が加齢で劣化することが原因で起きる網膜剥離や、もろくなった網膜の血管

が破れる糖尿病網膜症などの治療で選択される。繊細で高い技術が必要なので、大学病院などで行われることが多い。白内障は、レンズの役割を

果たす「水晶体」が加齢などによって濁る病気だ。まぶさを強く感じたり、物が二重に見えたりして生活に支障が出てきたら、水晶体を取り除いて人工の眼内レンズに置き換える、水晶体再建術を行う。

病院の実力「眼科」
医療機関別2021年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	硝子体手術(件)	白内障再建術(件)	主な緑内障手術(件)	常勤の専門医(人) (23年1月現在)
埼玉				
さいたま赤十字	2182	1812	134	7
独協医大埼玉医療セ	843	2022	149	8
埼玉医大	813	1816	223	12
防衛医大	317	560	23	11
戸田中央総合	94	424	7	2
上尾中央総合	35	537	0	3
TMGあさか医療セ	14	296	4	2
さいたま市立	4	187	0	2
新座志木中央総合	1	199	0	1
済生会川口総合	0	757	0	3
川口工業総合	0	345	0	1
越谷市立	0	275	0	2
県立小児医療セ	0	18	3	1
明海大	0	0	0	1
群馬				
群馬大	659	814	288	13
日高	24	198	0	1
桐生厚生総合	0	246	0	2
千葉				
順天堂大浦安	810	1086	227	14
千葉大	627	1293	274	9
東邦大佐倉	621	1530	200	10
国保旭中央	206	1354	80	5
亀田総合	174	1290	29	6
国保君津中央	139	967	79	2
聖隷佐倉市民	63	492	83	1
東京女子医大八千代医療セ	7	255	3	4
キッコーマン総合	3	268	0	0
千葉メディカルセ	0	850	0	2
済生会習志野	0	774	0	2
千葉市立海浜	0	441	0	3
井上記念	0	297	5	1
松戸市立総合医療セ	0	246	0	1
船橋市立医療セ	0	230	0	1

「セ」はセンター

全国の調査結果は17日の「安心の設計面」に掲載しました。

緑内障は、眼球内の内側からかかる圧力(眼圧)が高くなり、目の奥の視神経が傷つき、自覚症状がないまま進み、視野が狭くなり、失明に至るケースもある。早期発症できれば目薬で眼圧を下げることが、重症の場合は、角膜と水晶体の間にある液体の詰まりを解消する手術が必要になる。

高齢化によって、「加齢病」とも呼ばれる目の病気が増えている。検査で不調を見つけたら、早めに治療を始めることが大切だ。